

関係各位

**薬局だより**

薬剤部 医薬品情報管理

定例薬事委員会において新規採用薬品等を下記のように決定いたしました。

## 1) 新規採用薬品

・全科新規採用薬品: 下記の通り

なし

・診療科限定新規採用薬品: 下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
眼科	パブーモ硝子体内注射用キット120mg/mL (薬価: 131,892/キット)	1バイアル注 (0.24mL) 中 ファリシマブ(遺伝子組換え) 28.8mg	中外製薬	<p>&lt;中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性&gt; ファリシマブ(遺伝子組換え)として6.0mg(0.05mL)を4週ごとに1回、通常、連続4回(導入期)硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後の維持期においては、通常、16週ごとに1回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、8週以上あけること。</p> <p>&lt;糖尿病黄斑浮腫&gt; ファリシマブ(遺伝子組換え)として6.0mg(0.05mL)を4週ごとに1回、通常、連続4回硝子体内投与するが、症状により投与回数を適宜減じる。その後は、投与間隔を徐々に延長し、通常、16週ごとに1回、硝子体内投与する。なお、症状により投与間隔を適宜調節するが、4週以上あけること。</p> <p>&lt;網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、脈絡膜新生血管を伴う網膜色素線条&gt; ファリシマブ(遺伝子組換え)として1回あたり6.0mg(0.05mL)を硝子体内投与する。投与間隔は、4週以上あけること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性</li> <li>○糖尿病黄斑浮腫</li> <li>○網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫</li> <li>○脈絡膜新生血管を伴う網膜色素線条</li> </ul>
小児科	ロタテック内用液 (薬価: 未収載)	5価経口弱毒生 ロタウイルス株 (WI79-9株、 SC2-9株、 WI78-8株、 BrB-9株、 WI79-4株)	MSD	乳児に通常、4週間以上の間隔において3回経口接種し、接種量は毎回2mLとする。	ロタウイルスによる胃腸炎の予防
麻酔科	ドルミカムシロップ 2mg/mL (薬価: 1,117.80/mL)	1mL中 ミダゾラム 2mg	丸石製薬	通常、小児にはミダゾラムとして1回0.25~1.0mg/kg(最大用量20mg)を麻酔開始前に経口投与する。	麻酔前投薬

2) 診療科限定追加薬品:下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
消化器・肝胆膵外科	アネレム静注用20mg (薬価:1,540/瓶)	レミゾラムベシル酸塩静注用	ムンディファーマ	<p>&lt;全身麻酔の導入及び維持&gt; &lt;導入&gt; 通常、成人には、レミゾラムとして12mg/kg/時の速度で、患者の全身状態を観察しながら、意識消失が得られるまで静脈内へ持続注入する。なお、患者の年齢、状態に応じて投与速度を適宜減速すること。</p> <p>&lt;維持&gt; 通常、成人には、レミゾラムとして1mg/kg/時の速度で静脈内への持続注入を開始し、適切な麻酔深度が維持できるよう患者の全身状態を観察しながら、投与速度を適宜調節するが、上限は2mg/kg/時とする。なお、患者の年齢、状態に応じて投与開始速度を適宜減速すること。</p> <p>覚醒徴候が認められた場合は、最大0.2mg/kgを静脈内投与してもよい。</p> <p>&lt;消化器内視鏡診療時の鎮静&gt; 通常、成人には、レミゾラムとして3mgを、15秒以上かけて静脈内投与する。効果が不十分な場合は、少なくとも2分以上の間隔を空けて、1mgずつ15秒以上かけて静脈内投与する。なお、患者の年齢、体重等を考慮し、適切な鎮静深度が得られるよう、投与量を適宜減量する。</p>	<p>○全身麻酔の導入及び維持 ○消化器内視鏡診療時の鎮静</p>

3) 患者限定新規採用薬品:下記の通り

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
小児科	フィンテプラ内用液 2.2mg/mL (薬価:1,618.70/mL)	1mL中フェンフルラミン塩酸塩 2.5mg	ユーシーピージャパン	<p>&lt;Dravet症候群&gt; (1)ステリベントールを併用する場合 通常、成人及び2歳以上の小児には、フェンフルラミンとして1日0.2mg/kgを1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により1日0.4mg/kgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこと。また、1日用量として17mgを超えないこと。</p> <p>(2)ステリベントールを併用しない場合 通常、成人及び2歳以上の小児には、フェンフルラミンとして1日0.2mg/kgを1日2回に分けて経口投与する。なお、症状により1日0.7mg/kgを超えない範囲で適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて行うこと。また、1日用量として26mgを超えないこと。</p> <p>&lt;Lennox-Gastaut症候群&gt; 通常、成人及び2歳以上の小児には、フェンフルラミンとして1日0.2mg/kgを開始用量として1日2回に分けて経口投与し、患者の状態に応じて、1週間以上の間隔をあけて1日0.7mg/kgまで増量できる。1日用量として26mgを超えないこと。</p>	<p>他の抗てんかん薬で十分な効果が認められない下記の患者におけるてんかん発作に対する抗てんかん薬との併用療法 ○Dravet症候群 ○Lennox-Gastaut症候群</p>

依頼科	薬品名	成分	メーカー	用法用量	適応症
産婦人科	ヤーズフレックス配合錠 (薬価:280.10/錠)	1錠中ドロスピレノン3mg及びエチニルエストラジオール ベータデクスとしてエチニルエストラジオール0.020mg含有	バイエル薬品	<p>&lt;子宮内膜症に伴う疼痛の改善&gt; 1日1錠を経口投与する。24日目までは出血の有無にかかわらず連続投与する。25日目以降に3日間連続で出血(点状出血を含む)が認められた場合、又は、連続投与が120日に達した場合は、4日間休薬する。 休薬後は出血が終わっているか続いているかにかかわらず、連続投与を開始する。以後同様に連続投与と休薬を繰り返す。</p> <p>&lt;月経困難症&gt; 下記のいずれかを選択する。 ・1日1錠を経口投与する。24日目までは出血の有無にかかわらず連続投与する。25日目以降に3日間連続で出血(点状出血を含む)が認められた場合、又は、連続投与が120日に達した場合は、4日間休薬する。 休薬後は出血が終わっているか続いているかにかかわらず、連続投与を開始する。以後同様に連続投与と休薬を繰り返す。</p> <p>・1日1錠を24日間連続経口投与し、4日間休薬する。 以上28日間を投与1周期とし、出血が終わっているか続いているかにかかわらず、29日目から次の周期の錠剤を投与し、以後同様に繰り返す。</p> <p>&lt;生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整&gt; 1日1錠を、通常、14~28日間連続経口投与する。</p>	<p>○子宮内膜症に伴う疼痛の改善</p> <p>○月経困難症</p> <p>○生殖補助医療における調節卵巣刺激の開始時期の調整</p>

4) 診療科限定再審議薬品(本採用結果)

- ・テブダック点滴静注用40mg:診療科限定のままで(産婦人科)
- ・アクテムラ点滴静注用80mg・400mg:診療科限定のままで(呼吸器内科・血液腫瘍内科)
- ・テビムブラ点滴静注100mg:診療科限定のままで(消化器・肝胆膵外科)

5) 販売/供給中止・回収・限定出荷等に伴う変更(在庫なくなり次第変更予定)

① 販売中止に伴う変更

(変更前薬品名)		(変更後薬品名)
ケイキサレートドライシロップ76%	→	カリメート経口服液20%
ミールビック	→	ミールビックII皮下注用
イソジンシュガーパスタ軟膏	→	ポビシュガーパスタ軟膏
亜鉛華デンブ「コザカイ・M」	→	亜鉛華デンブ「ヤマゼン」M
エトボシド点滴静注液100mg「サンド」	→	ラストテット注100mg/5mL
ハイカムチン注射用1.1mg	→	ハイカムチン点滴静注液1mg/1mL

② 供給困難に伴う変更

(変更前薬品名)		(変更後薬品名)
オーラ注歯科用カートリッジ1.8mL	→	セプトカイン配合注カートリッジ
チモロールXE点眼液0.5%「ニットー」	→	チモロールXE点眼液0.5%「杏林」
トラマドール塩酸塩OD錠25mg「KO」	→	トラマールOD錠25mg
ミルリノン注10mg「タカタ」	→	ミルリーラ注射液10mg

③ 出荷停止に伴う変更

(変更前薬品名)		(変更後薬品名)
硝酸イソソルビド注5mg/5mL「タカタ」	→	ニトロール注5mg
オザグレルNa点滴静注40mg「タカタ」	→	カタクロット注射液40mg

④ 販売移管に伴う変更

(変更前薬品名)		(変更後薬品名)
ゲムシタピン点滴静注用200mg・1g「ヤクルト」	→	ゲムシタピン点滴静注用200mg・1g「タカタ」
リスペリドン内用液1mg/mL「杏林」	→	リスペリドン内用液1mg/mL「ヨシトミ」

⑤ 名称変更に伴う変更

(変更前薬品名)		(変更後薬品名)
カルボプラチン点滴静注液50mg・150mg・450mg「NK」	→	カルボプラチン注射液50mg・150mg・450mg「NK」

6) 削除薬品(在庫なくなり次第削除予定)

フルマリン 静注用1g	:	6ヶ月間使用なしのため削除
【科限定】ベリプラストP コンビセット 組織接着用5mL	:	ボルヒールを使用に伴い削除
【患者限定】ユビデカレノン錠10mg「日新」	:	期限切れのため削除

7) 採用区分/剤型変更等(在庫なくなり次第変更予定)

① 剤型変更/剤型追加/規格変更/規格追加

(1) 剤型変更

【患者限定】レットヴィモ錠40mg	:	【患者限定】レットヴィモカプセル40mgより剤型変更
-------------------	---	----------------------------

(2) 剤型追加

【患者限定】レギュニールLCa4.25腹膜透析液シングルバッグ機器専用 2L	:	【患者限定】レギュニールLCa4.25腹膜透析液UVツインバッグ2Lより剤型追加
--	---	--

(3) 剤型変更

ネオフィリン注250mg	:	ネオフィリン注PL250mgより剤型変更
--------------	---	----------------------

(4) 規格追加

【患者限定】スキリージ皮下注180mgオートドーズ	:	【患者限定】スキリージ皮下注360mgオートドーズより規格追加
---------------------------	---	---------------------------------

② 採用区分変更

(1) 全科採用→患者限定へ変更

- ・ノイトロジン注100μg
- ・クリアクター 静注用80万

8) 後発品への変更(在庫なくなり次第変更予定)

① 先発→後発への変更

- ・ビムパット錠50mg→ラコサミド錠50mg「アメル」
- ・リュープリンSR注射用キット11.25mg→リュープロレリン酢酸塩SR注射用キット11.25mg「NP」